

宮川の風景

山下上 山腰 進

プールや水遊び場のなかった頃、暑い夏の遊びと言えば、水泳？というより水遊びや魚とりでした。魚と言っても、「あぶらめ」「やうぐい」「かぶち」たまに「いわな」がいました。といっても数は少なく、なかなか捕まえることはできませんでした。鮎は放流されるようになって見るようになるようになりました。

今年も七月末には、宮川は少雨のため、渡瀬橋から小学校裏まで乾上がっていました。

サギが川原に魚をねらっていました。以前、サギはさほどいなかったのですが、最近シラサギが多くなります。乾上がった川は絶好の餌場になるようです。特に小学校の



裏から渡瀬橋あたりが川の水がなくなるのが早いようです。今から約五十年ほど前もその辺りは、日照りが続く水がなくなりました。しかし、その辺りは砂利の採石場で、「イシバヤマ」(石灰も作っていた)と呼ばれ、採石した所に水がたまり、丁度よい水遊び場になる場所がありました。他に水遊び場としてよい所は、上流からは、脇坂さんの裏のえん堤から、焼け石、牛のクソ、白樺橋の上のえん堤下、山下橋の下、一之宮橋上流のえん堤下、そして、松橋の下などがありました。

いずれも狭く、さほど深くなかったのですが、子どもにとっては格好の水遊び場でした。しかし、深い所や渦巻いている所もあり、怖い所もありました。また、そういう所にこそ仲間も集まって遊べる場でもあり、暑さを忘れることのできる所でした。又クイ谷にダムができたり、えん堤が改修されたりしてからは、あまり淵もできなくなりました。昔はよく、台風などで洪水になるような大雨が出ることもあり、それによって川の流れや淵も変わって、夏の水遊び場の様子も少しずつ変わっていききました。

学校にプールもでき、時代とともに川の付き合い方も違ってきていますが、子供たちも川から遠ざかってきた気がします。一之宮の中心部分を流れる清流の宮川、いつまでも大切にしたいものです。

8・17豪雨 一之宮でも被害

8月17日に降った大雨は高山旧市街地や清見町、莊川町に土砂崩れや橋の流失など多くの被害をもたらした。市内では約24,000人に避難勧告が出されました。

高山市では17日の夕方までの48時間に312.5mmの雨を観測。これは2日間で平年の月間降水量の2倍近くの雨が降ったということで、特に、17日の午前7時から8時までの1時間には57mmと、10年前の台風23号以来の観測史上最多に並ぶ激しい雨が降りました。



北西側に被害が集中しました。お旅山踏切りには御母衣谷から土砂が流出して線路を塞ぎJRは一日不通となつたほか、山下上の焼谷では崩れた土砂が幹線用水に流

れ込み、用水から溢れた水が田畑に流入しました。また、奥地内では護岸が崩壊して道路が一帯陥没しました。その他、日影地内でも谷川の氾濫による農地への流入がありました。

民家への被害は床下浸水が3件、ほかに倉庫への浸水が1件ありました。一之宮公民館にも一時2家族が避難しました。

この災害には市職員や町内会関係者らが対応にあたったほか、消防団や自主防災組織が出勤して土のうを積むなど、災害防止にあたりました。

全国的にも多くの被害を出した大雨は「平成26年8月豪雨」と命名されましたが、特に先月20日未明に広島市で発生した土石流では70名を超える死亡・行方不明者が出ています。

高山市では人的な被害がなかったのが救いですが、日ごろからの備えが大切と改めて感じた今回の豪雨でした。(広報委員 山腰進)



入札受付日: 9月5日(金)午前9時~午後5時
入札場所: 一之宮支所 基盤産業課
入札用紙は基盤産業課窓口にあります。

まち協女性委員会より
行事予告のご案内
一之宮町「郷土食伝承の会」
をご存じですか?
人は懐かしい味に出会い、



見守りボランティア募集
子どもたちの見守り活動に参加してみませんか
一之宮町まちづくり協議会社会教育部では、これまでのスクールサポーターズを見直し、子どもたちの見守り活動を広く地域住民の方々に呼び掛けて行うこととしました。
活動の内容は、登下校時の声かけなど、自宅近辺での見守り活動です。
参加していただける人は今月1日折込の募集チラシの募集票で申込むか、直接公民館に申し込んでください。

思い出が繰り広がります。
臥龍の里・一之宮のさくらそばを打ちながら食に関心を寄せ、一之宮町再発見につながる体験をしてみませんか?
「郷土食伝承の会」ご指導のもと、10月25日(土)、さくらそばのそば打ち体験が開催されます。食欲の秋、ぜひ、美味しいおそばをお楽しみください。(詳細は後日改めてお知らせします)

高山市総合防災訓練の実施について
日時: 9月28日(日)
会場: 一之宮支所駐車場
参加町内会: 一之宮町内会 宮川班、宮下班
当日は防災行政無線の放送や消防関係車両の走行などがありますのでご承知おきください。
各家庭におかれましても、災害発生時の初動活動の一環としてガスの元栓を閉める訓練や、屋外へ避難する訓練などを是非実施してみてください。

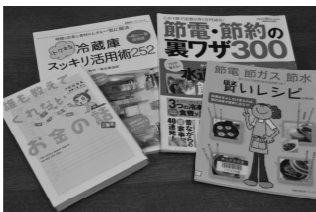
茸山の入札について
高山市有林内の「田ノ洞、枯木ヶ洞地区」における茸山入札が次の通り実施されます。
茸山場所: 田ノ洞、枯木ヶ洞地区 62.8ha
採取期間: 9月15日~11月30日

図書館だより

ブックスタートin一之宮分館
高山市ブックスタート事業の1歳6か月児絵本の読み聞かせと、絵本の引き換えを行います。
日時: 9月20日(土)
午前10時30分~11時30分
場所: 高山市図書館 一之宮分館
ブックスタート絵本の引き換えには、高山市が配布している引換券と母子手帳が必要です。(事前申し込みは不要)おはなし会はどなたでも参加できます!

9月の特集 節約のススメ

消費税8%で家計に負担がかかる今日このごろ。来年には10%の大台に乗るかも?
お金のやりくりや貯まる家計のコツ、お助け食材を使った財布にやさしいレシピなど、今日から取り入れられる節約の本を特集します。



一之宮町の人口情勢

世帯数		820戸	
年齢	男性	女性	合計
0~14歳	197	164	361
15~64歳	735	744	1,479
65歳以上	316	452	768
合計	1,248	1,360	2,608

8月1日現在

つばやき

長かった夏休みが終わりました。朝食の後片付けをしていると台所の窓から学校へ登校する子どもたちの姿が見えます。どの子の顔もまっ黒く日焼けしていて、その姿は楽しかった夏休みを物語っているようです。9月6日は小中学校合同運動会、まだまだ暑い日が続きますから、熱中症に気を付けて、思い出に残る運動会にしてほしいと思います。(つばやき)



「こせる」は気分を害するといった意味がありますが、どちらかというと、少々人を見下したニュアンスを含んでいるようです。

「こせる」

「わかった!」線を引き定規をよけると、なんとえがんでいました。「なんや、あんはよう持つとけよ!」と叱られ、こせてしまいました。

公民館から
展示コーナー
絵画クラブ作品展
(9月末まで)
9月の公民館定休日
8日(月) 16日(火) 22日(火)
24日(水)
9月の位山交流館定休日
1日(月) 8日(月) 16日(火)
22日(月) 29日(月)

環境にやさしい方法でおいしいお米を!



無人ヘリコプターによる水稲共同防除が8月13日と20日に町内の田を対象に行われました。

一之宮町稲作組合が一之宮町農業受託組合に委託して毎年実施しているものです。

無人ヘリは1日に4機を同時に飛ばし、1機ごとに、専門の操縦士1人と地図と田んぼを見ながら指示を出すオペレーター1人の2人組で行われます。作業は受託組合員とシルバー人材員が補助につき行われました。

一之宮町は地区がかたまっているため、同じ日に同時に防除作業を行うことが可能で、病害虫防除の効果がより高くなります。この共同防除は高品質でおいしい一之宮の米作りには欠かせない大切な作業になっています。

稲作組合長の小坂昭男さんは「無人ヘリによる水和剤を使った防除は、低高度(3〜4m)で散布するため農薬の飛散が少なく、環境にやさしい防除です。地域住民の方には今後ともご理解・ご協力をお願いします」と話されました。



宮景

花火大会

今年の夏の花火大会はお盆の真ただ中14日。午後3時頃から組のみなさんが「会場やわい」に集まり始めます。手慣れたもので、テント張りや水道の施設、厨房のセッティング、さらにはパーカウンター(!?)の設置など、夫婦松前の会場は、みるみるうちに花火鑑賞特設ステージに変身。手作りのから揚げ、焼きそば、焼き鳥、締めの手打ちそば、久しぶりに会う懐かしい顔、初めてみんなに紹介する彼、そして飛びっきりの打ち上げ花火!

生ビール片手に語り合う大人の横を子どもたちが駆け回り、4世代が集う山下上のいつもの光景が、夜遅くまで続いたのでした。

さて、この花火大会、実は真冬にもあるんです。大晦日のカウントダウンに合わせて、これまた盛大に打ち上げられます。



山下上班花火組による花火。一之宮の夏を彩る行事となりました

一之宮まち協だより

第4号
平成26年9月1日
一之宮町まちづくり協議会
広報委員会
高山市一之宮町3087
電話 53-2424

ニュースのひろば

夏の環境整備に汗 終わった後は慰労会で一杯

夏の環境整備が8月3日に町内全域で約500人が参加して一斉に行われました。

班単位で主に午前中に行われ、道路や堤防沿いの草刈を中心に清掃活動が行われました。班によっては河川の清掃やオオハングソウの駆除、側溝の修理、また大規模造林道沿いの草刈なども行いました。



オオハングソウの駆除も行いました

一斉に町民が出るこの日は、班単位で慰労会や夏まつりを行うところもありました。

昔話のアニメなど2作品 図書館分館が上映会

高山市図書館の読書推進事業「一之宮分館上映会」が8月6日、一之宮公民館和室で開催されました。

上映内容は、夏休み期間であることから、絵本や昔ばなしを原作とした子ども達が絵本とともに楽しめる作品で、絵本でおなじみの



真剣な表情で画面を見つめる子ども達

子ども会が七夕祭り 笹飾りに願いを込めて

一之宮町では、8月に入り、各地区の子ども会でも七夕祭りが行われました。



笹飾りの後は大好きなカレーライス

子ども会が資源回収 子どもも参加して作業



支所駐車場で行われた分別・積込作業

子ども会主催による夏の資源リサイクルが、小中のPTAの協力を得て8月23日に町内全域で行われました。

この日は各地区の子ども会が、育成委員や子ども会役員を中心に地区内を回ってリサイクル品を回収しました。

収集拠点となった一之宮支所駐車場では、小中PTA役員と子ども会育成委員が、各地区から持ち込まれた資源回収品の仕分けやトラックへの積み込みを行いました。

生涯学習講座が開講 前半は歴史とワイン講座

まちづくり協議会の社会教育部が主催する生涯学習講座が今年8月から始まり、そのうちの一つの歴史講座が8月22日に開講しました。

今年度はこれまでの社教教育部から一之宮まちづくり協議会に主催組織が替わったことから、開催時期が遅れ、また講座数も減少したの開催となりました。

この日の歴史講座には8人が参加し、講師の山腰さんから一之宮の山の歴史と産業について学びました。



講師の山腰さんから話を聞く参加者

臥龍桜日本画大賞鑑賞会 今年の入選作品を解説

第25回臥龍桜日本画大賞の入賞・入選作品の解説を行う鑑賞会が8



伊藤先生から説明を受ける参加者

編集後記
7月下旬は暑く、8月は台風の影響等で雨の多かった夏でした。盆の頃の大雨は、一之宮にも被害を出しましたが、人的なことにはなく何よりでした。そして、8月は多くの行事もありましたが、雨で中止になったものもあり少し寂しい夏でした。みなさんの夏は如何だったでしょうか?
ご意見、話題、原稿をお寄せ下さい。(インターネット開設!)

月23日に飛騨山文化交流館で開かれ、町外からの参加者も含めて22人が解説に耳を傾けながら鑑賞していました。

今年度の臥龍桜日本画大賞には全国から302点の応募があり、大賞、優秀賞、奨励賞、桜賞の合計10点の入賞と入選の合わせて70点が決まり、8月9日に表彰式が一之宮公民館でありました。

鑑賞会では入賞・入選作品のほかに審査員の作品も数点展示され、審査員の一人である伊藤嘉晃先生が、1点1点を丁寧に解説されました。